昭和三十年（1955）五月十五日（日）　（毎週日曜日発行）　THE MILKE　（昭和27年9月25日第三種郵便物認可）　第参百七拾九號　（一）

みいけ

発行所
三池炭鑛勞働組合
大牟田市不知火町
電話3033番
炭電 528 475番

編集兼発行人　平尾敏治
三鉱労組印刷工場

三鉱労組
機関紙

闘いの批判は厳正に

高島問題は処理委員会で検討

第十三回炭労定期大会始まる

【東京電話連絡】第十三回炭労定期大會は東京芝の中労委會館で五月十日から五日間の豫定で開催された。今次大会は資本家の賃金ストップの中で闘った賃闘を中心に企業整備、資本競争から脱落していった中小炭鉱の闘い、この様な状態の中で、過去一年間の闘いがどうであったか、又今年に入っての総選挙、地方選挙が如何に闘われたか、今後行われる石炭合理化反對闘争をどう闘うべきかを徹底的に討議することになっているので期待がもたれている。

第一日目

大会初日は午前十時十五分開会、議長団に渡辺浩（大夕張）佳内徳治（幌内）花園憲一（三池）の三友館団体のメッセージがあり、挨拶を決定し、山本、岡真根両参議員、ルーマニヤ各炭鉱労組よりのメッセージを朗読、午前の議事を終る。

午后残りのメッセージを一部うけ引つゞき中央、地方情勢報告があり、つゞいて婦民組合、炭婦協、吉田参議、神山電産委員長（左社）勝間田、多賀谷、福田、木原（労農）石野（右社）今井（共産）川上の各代議士をはじめ、炭鉱インター、東独、ソ同盟、ルーマニヤ各炭鉱労組よりのメッセージを朗読、午前の議事を終る。

午后残りのメッセージを一部うけ引つゞき中央、地方情勢報告があり、つゞいて婦民組合、炭婦協、吉田参議、神山電産委員長（左社）勝間田、多賀谷、福田、木原（労農）石野（右社）今井（共産）川上の各代議士をはじめ、炭友館団体のメッセージがあり、挨拶を決定し、山本、岡真根両参議員のメッセージがあり、定員一九三に対し出席一六九で大会の成立宣言